



な か は ら

学校教育目標：

心身ともに逞しく、主体的にねばり強く学び、思いやりのある児童の育成

文責 校長 池田 雄一郎

引き渡し訓練 ~災害はいつ起こるかわからない~

5月31日（金）午後、本年度も大雨が降ったという想定の下、引き渡し訓練を実施しました。事前に引き渡しカードを作成してもらい、カードに従って保護者の皆様にお子様を引き渡しました。昨年度実施した際の反省点を生かし、車による送迎の混雑を少しでも緩和しようと、すべて運動場駐車をお願いいたしました。保護者のみなさんの協力もあって、昨年度と比べスムーズな引き渡しができました。保護者の皆様には、大変お世話になりました。

今年度の反省として、運動場から出て行く際の混雑があげられます。出口が一方通行でなかったために誤って入ってくる車と出て行く車が立ち往生する場面がありました。次回からは、運動場南側の門を出口としたルートにしたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

災害は忘れた頃にやってくると言います。保護者の皆様におかれても、学校以外や土日で災害が発生した場合の避難場所や避難方法など日頃から何度も何度も確認していただければと思います。

「さん」付けに取り組みます！

6月3日（月）人権集会（全校朝会）より

みなさん、4月に話をした「時を守り、場を清め、礼を尽くす」いつも心がけていますか？中原小の目指す姿「なかよく、かしこく、ハキハキと、楽しげにがんばる、中原っ子」になるために、大切なことです。

今日は、校長室の掃除をしてくれている2人の6年生のことを紹介します。

（校長先生）

「丸内さん、大柿さん、掃除の時にいつも心がけていることは何ですか？」

（丸内さん、大柿さん）

「5分前に遊ぶのをやめて、早めに校長室に行き、一生懸命時間いっぱい掃除をすることです。」

二人は、このことを毎日2ヶ月も続けています。お陰で校長室はいつもピカピカです。素晴らしい6年生だと思います。本当にいつもありがとうございます。

さて、今月は、特に人権のことを考える月間です。みなさんの教室で、こんな言葉は聞かれますか？「友達の発表に対して『はあ？』」「そんなことも知らんとね」「こそこそ話」「おまえ、あいつ、あの人（名前があるのに）」「勉強に対して、みんなに聞こえるように『つまらない、面白くない』」「やだ、やりたくない、わからんもん」

特に、**友達に対して、『呼び捨て』する人が目立つように思います**。言葉が荒れるといやな思いをする人がたくさん出てきます。それぞれの学級や学年が、安心して暮らせるようにしなければなりません。そこで、校長先生からは、たった一つだけ、先生方を含めた中原小全員でやってほしいことがあります。

それは、「さん付け」で名前を呼ぶと言うことです。校長先生もたまに、「くん、ちゃん」と言ってしまうことがあります。校長先生も直していきたいと思っておりますので、みんなで「さん付け」で呼び合えるようにがんばりましょう。

決めたことは、最後までやり通すことが、何よりも大事です。安心して学べる学校にしましょう。